高等学校 令和 7 年度 (3 学年用)

教科：地理歴史

科目：日本史探究

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：(1 組：飯田) (2 組：飯田) (3 組：飯田) (4 組：撰梅) (5 組：飯田) (6 組：撰梅) (7 組：撰梅)

使用教科書：精選日本史探究(実教出版)

教科の目標：社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論し

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について多面的・多角的な考察や深い理解を通して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について多面的・多角的な考察や深い理解を通して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 学期	1 単元名 国家と文化の形成						
	【知識及び技能】 日本列島の歴史とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多角的に理解できる。	【使用教材】 教科書、図録、個人端末、プリント	【知識及び技能】 日本列島の歴史とその展開について、アジアとの交流を踏まえて理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 日本列島の歴史とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。	【指導項目・内容】 ・人類の文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生文化の形成について理解する。 ・倭国と朝鮮半島・中国との関係性について理解する。	【思考力、判断力、表現力等】 日本列島の歴史とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	○	○	○	25
	【学びに向かう力、人間性等】 日本列島の歴史とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察、探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 日本列島の歴史とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察、探究しようとしている。				
1 学期	2 単元名 古代国家の確立①						
	【知識及び技能】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多角的に理解できる。	【使用教材】 教科書、図録、個人端末、プリント	【知識及び技能】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。	【指導項目・内容】 ・地域の首長の出現から統一国家に至る過程を古墳の変容からとらえる。 ・ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して飛鳥時代を考察する。	【思考力、判断力、表現力等】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	○	○	○	23
	【学びに向かう力、人間性等】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察、探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察、探究しようとしている。				
2 学期	2 単元名 古代国家の確立②						
	【知識及び技能】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多角的に理解できる。	【使用教材】 教科書、図録、個人端末、プリント	【知識及び技能】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。	【指導項目・内容】 ・律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 ・律令国家の完成期としての奈良時代を律令体制の状況からとらえて考察する。 ・多面的・多角的にとらえて考察する。	【思考力、判断力、表現力等】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	○	○	○	25
	【学びに向かう力、人間性等】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察、探究することができる。	・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について理解する。 ・律令制に基づく地方統治体制の崩れへの対応が公領支配の変質や荘園の拡大をもたらしたことについて考察する。	【学びに向かう力、人間性等】 古代国家の成立とその展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察、探究しようとしている。				

高等学校 令和 7 年度 (3 学年用)

教科 : 地理歴史

科目 : 日本史探究

単位数 : 3 単位

対象学年組 : 第 3 学年

教科担当者 : (1組:飯田) (2組:飯田) (3組:飯田) (4組:撰梅) (5組:飯田) (6組:撰梅) (7組:撰梅)

使用教科書 : 精選日本史探究 (実教出版)

教科の目標 : 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論し地理や歴史に関わる諸事象について多面的・多角的な考察や深い理解を通して、よりよい社会の実現を視野に主体的に解決しようとする態度を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について多面的・多角的な考察や深い理解を通して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
3 単元名 中世社会の成立						
【知識及び技能】 中世社会の成立について多角的に理解できる。	【使用教材】 教科書、図録、個人端末、プリント	【知識及び技能】 中世社会の成立について理解しようとしている。				
2 学期 【思考力、判断力、表現力等】 中世社会の成立について多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現できる。	【指導項目・内容】 ・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ・将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 ・モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解する。	【思考力、判断力、表現力等】 中世社会の成立について多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現しようとしている。				
【学びに向かう力、人間性等】 中世社会の成立について、多面的・多角的に考察、探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 中世社会の成立について、多面的・多角的に考察、探究しようとしている。	○	○	○	25
3 単元名 中世社会の展開						
【知識及び技能】 中世社会の展開について、アジアとの交流を踏まえて多角的に理解できる。	【使用教材】 教科書、図録、個人端末、プリント	【知識及び技能】 中世社会の展開について、アジアとの交流を踏まえて理解しようとしている。				
3 学期 【思考力、判断力、表現力等】 中世社会の展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現できる。	【指導項目・内容】 ・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向を踏まえて理解する。 ・琉球・蝦夷が島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。 ・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を理解する。 ・諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を理解する。 ・武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化との関わりについて理解する。 ・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連付けて考察する。	【思考力、判断力、表現力等】 中世社会の展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現しようとしている。				
【学びに向かう力、人間性等】 中世社会の展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察、探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 中世社会の展開について、アジアとの交流を踏まえて多面的・多角的に考察、探究しようとしている。	○	○	○	7